

編集後記

2018年はスポーツ界において日本人アスリートの多くの躍進が見られ、本学においても男子バスケットボール部の全日本大学バスケットボール選手権優勝、男子柔道部の3連覇、そしてなんといっても陸上長距離の東京箱根間往復大学駅伝競走での初優勝は記憶に新しいうれしい結果でした。特に東京箱根間往復大学駅伝競走での優勝は本研究所においても寺尾先生が献身的に強化・コンディショニングに関わっていただいていたのでことのほかうれしく思います。

東海大学スポーツ医科学雑誌も第31号の発刊の運びとなりました。本年度も発刊を迎えられたことに安堵しています。2019年度には、研究設備拡充計画にて多次元ランニング・ウォーキング解析システム（動作解析のできるフォースプレート内蔵型トレッドミルシステム）導入予定し、さらに平地でできる高地トレーニング（低圧並びに常圧低酸素）施設を拡大させ、研究環境の充実から本学ならではの研究ができる準備をしています。本研究所の理念でもある研究成果をスポーツ現場に還元することができるようさらに推進していく所存です。

最後に、第31号刊行にあたって、ご寄稿いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

編集委員長 宮崎 誠司